

検 証 報 告 書

2006年11月20日

環 境 省 御 中

株式会社日本スマートエナジー
代表取締役 大串 卓矢

1. 検証の目的及び範囲

株式会社日本スマートエナジー（以下、「当社」という。）は、ピー・アンド・ジー株式会社（以下、「事業者」という。）明石工場の「自主参加型国内排出量取引制度に関する排出量算定報告書（基準年度 Ver.1.3）」（以下、「算定報告書」という。）に記載された2003年度（2003年4月1日から2004年3月31日まで）、2004年度（2004年4月1日から2005年3月31日まで）及び2005年度（2005年4月1日から2006年3月31日まで）の二酸化炭素排出量について検証を行った。算定報告書を作成し二酸化炭素排出量を報告する責任は事業者にあり、当社の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された二酸化炭素排出量に対する意見を表明することにある。

2. 検証手続

当社は、「自主参加型国内排出量取引制度第2期実施ルール」に定められている検証に関する事項に準拠して検証を行った。この検証業務の基準は、検証業務のリスクを勘案して策定した計画に基づいて、意見表明の基礎となる合理的な保証を得ることを求めている。検証は、試査を基礎として行われ、算定基準の適用方法、データの測定方法、事業者が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定報告書における記載の検討も含んでいる。これらの検証手続により、当社は、意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

3. 検証の結論

当社は、事業者の明石工場の算定報告書に記載された2003年度、2004年度及び2005年度の二酸化炭素排出量は、自主参加型国内排出量取引制度における温室効果ガス排出量の算定基準である「自主参加型国内排出量取引制度第2期実施ルール」に基づいて、全ての重要な点について適正であると認める。

以上